



岩手大学の新しいロゴマーク・カラー等を制定しました

大学のコンセプトを地域社会のみなさまにわかりやすく伝えるため、大学のカラー、ロゴマークや名刺・封筒等のアプリケーションの統一デザインについて、「岩手大学ロゴマーク等運用ガイドライン」に定めました。

岩大グリーンは、さまざまな樹木に囲まれ、豊かな自然景観を持つ本学のキャンパスを表すカラーで、宮沢賢治の詩集「春と修羅」にある、ドイツ語の「ZYPRESSEN」（ツィプレセン）日本語訳で「糸杉」が由来となっています。

「よりよい未来を創造する「地域の知の府」「知識創造の場」として、地域に頼られ、尊敬され、愛される大学となる」ため、新しいロゴマーク等を活用し、岩手大学のブランディングを推進してまいります。



2022年4月 岩手大学分子接合技術研究センターを設置しました

岩手大学では、2021年7月に策定・公表した「ビジョン2030」で示す10年後の岩手大学の方向性に基づいて、第4期中期目標・中期計画期間の開始に合わせ、2022年4月に「分子接合技術研究センター」を設置しました。

本学が有する「分子接合技術」は、プラスチックと金属、プラスチックとセラミックス、プラスチックとゴムなど、通常の接着剤では接着困難な材料同士を、化学結合を利用して接合する技術であり、岩手オリジナルの接着技術です。岩手県では、かつて東洋一の硫黄鉱山と呼ばれた松尾鉱山が操業しており、採掘される豊富な硫黄の活用を目指すために、昭和34年4月、現在の理工学部の前身である工学部に応用化学科が新設されました。岩手大学の分子接合技術は、硫黄活用を発端とした研究が脈々と続けられ、蓄積されてきた研究成果に基づいて確立した技術です。

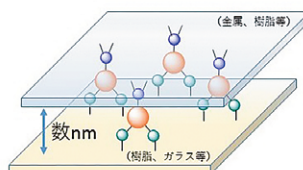
本学の分子接合技術は、これまでの接合技術よりも接着性が高く、また接合の工程を簡素化することを可能とします。このことから、ものづくりの幅広い業種において活用を図れる技術であり、なかでも、次世代高速通信システム (Beyond 5G) の基盤となる半導体などエレクトロニクス実装分野への展開が、特に期待されています。

10月14日(金)に岩手大学復興祈念銀河ホールにおいて開催した岩手大学分子接合技術研究センター開所記念講演会では、企業を中心に約100名の参加がありました。本学の分子接合技術に対するご関心やご期待を、少なからず頂戴していると認識しております。岩手大学の独創的研究である分子接合技術の進展により、グローバルな技術革新と地域イノベーション・エコシステムの形成による地域創生を実現することが、地域社会に対する本学の責務と認識し、引き続き、研究開発の加速・強化に努めてまいります。

i-SB法 (プロセス) とは？

岩手大学発の分子接合剤を用いる固体材料の接合プロセスの総称がi-SB法 (プロセス) です。i, S, Bはそれぞれ以下の頭文字から取られています。

i iwate, innovation **S** Strong, Simple, Superior, Surface **B** Bonding(結合)



分子接合剤を構成する各部の働き

- 金属や他の樹脂と化学結合する部分
- 耐熱性の高い中心骨格
- 樹脂やガラスと化学結合する部分

学内カンパニー紹介「i-Connect」

『学内カンパニー』とは？

岩手大学では、学生自らが学内で仮想的な"会社"をつくり、ものづくりを通して企業活動や働くということを実践的に学ぶことができるしくみがあります。現在、会社の数は12社、取り扱う事業内容は理工学分野のみならず木材加工やデザイン、広報にまで広がり、さまざまな事業内容の会社が学内で生まれています。学部に関係なく、学生同士が主体となって事業に挑戦することができる環境となっています。

『i-Connect』の活動

学内カンパニーのひとつであるi-Connectは主に広報活動を行う会社で、岩手大学広報誌「Hi!こちら岩手大学」の記事執筆や学内のイベント告知などのさまざまな活動をしています。現在5名が所属しており、学部は農学部、人文社会科学部、理工学部に渡っています。

学内の研究室やサークルなどを紹介する岩手大学のテレビ番組「ガンダイニング」のリポーターもi-Connect社員が務めています。サークルや同好会、学内カンパニーなどの学生を主体とする団体について学内外のより多くの皆様に知っていただきたいという気持ちのもと、インタビューを行い、記事にしています。

また、学外との交流も盛んで、キャンパスツアーでは地域の小・中学生に岩手大学の魅力を伝える活動をしています。10月29日に開催された「うえだ交流まつり」では、司会などの運営にも携わり地域との交流の場をつくることができました。今後も学内外のさまざまな人と繋がりを、活動の魅力を伝えていきます。

(取材者：学内カンパニー i-Connect 社員 石橋理絵)



ガンダイニングリポーター



うえだ交流まつり「キャンパスツアー」

サークル紹介「うたごえサークル」

うたごえサークルは、バンドや弾き語り形式でさまざまな曲を演奏しているサークルです。J-POPやサークルのメンバー達で作曲したオリジナル曲など幅広いジャンルの楽曲を演奏・披露しています。一年生から大学院生まで総勢87名と、とても多くの学生が所属している賑やかで楽しいサークルです。

他の音楽系サークルと違って、入部時点ではバンド等での楽器演奏経験のない部員も多いため、楽器・バンド初心者に対して特に優しいサークルです。また、バンドだけではなく弾き語りにも取り組むメンバーが多いことも特徴です。

普段の活動は、月に一度開催される部内ライブおよびそれに向けた各バンドや個人での練習です。部内ライブでは、普段の練習成果をサークル内の他メンバーの前で披露しています。

2020年以降の新型コロナウイルスの感染拡大によって、ここ数年は、コロナ禍以前まで実施していた部室でのライブなど多くの行事が行えない状況となってしまいました。とはいえ、発生からすでに3年近く経過した現在では、活動がある程度制限されている状況下でも、きちんとコロナ対策をしながら新しいライブの形を見つけてもっと活発なサークル活動にできないか、試行錯誤しながら日々活動しています。



弾き語り



バンド演奏(不来方祭)

(取材者：学内カンパニー i-Connect 社員 北田 工)

同窓生のみなさんもお利用いただけます

社会人学び直しプログラムによる地域貢献

岩手大学生涯学習指針に基づき、地域住民のニーズの多様化・高度化に対応した環境整備とともに、地域の課題に対応できる人材育成プログラムの開発を行っています。

大学の強みを活かした社会人学び直し・生涯学習プログラムの充実を通して、地域住民や企業の身近な学びの場としての機能強化を進めています。

- ◎ 公開講座
- ◎ アートフォーラム
- ◎ いわてアグリフロンティアスクール
- ◎ 地域を支える「まちづくりリーダー」育成プログラム
- ◎ いわて観光グローバル人材育成講座 ほか



詳細はこちら

<https://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/community/lifelong/>



卒業証明書等の発行

卒業証明書等の各種証明書を「オンライン申し込み」、「窓口申し込み」、「郵送申し込み」にて発行します。(有料)

詳細はこちら

<https://www.iwate-u.ac.jp/target/certificate.html>



「岩手大学イーハトーヴ基金」のご案内

本学の教育研究や学生支援を幅広く展開することを目的とした「一般基金」と、東日本大震災により被害に遭った学生や新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮する学生たちへの支援など、用途を特定した「特定基金」で構成され、以下の学生支援等に活用されました。

岩手大学同窓会連合からもイーハトーヴ基金の特定基金「修学支援事業基金」に寄附をしました。

岩大100円朝食・ 岩手大学200円夕食

学生食堂において最大400円相当の朝定食を100円で、最大450円相当の夕食を200円にて提供し、延べ6,395名の学生が利用しました。

「Choice the 学食 Bento!」

学内で販売しているお弁当から一律100円の値引きを実施し、延べ4,256名の学生が利用しました。

うえだめし

学生への経済支援と上田商店街飲食店等の活性化を図る取り組みとして、上田商店街飲食店が作る1個700円相当のお弁当を大学構内にて200円で販売。毎回、長蛇の列ができる大盛況となりました。

新型コロナ 生活支援事業

岩手大学生協で使用できる電子マネーの配付を行いました。

修学支援奨学金

継続して給付型の奨学金を実施し、41名に各10万円の給付を行いました。

その他

海外留学支援、外国人留学生への入国支援や法科大学院進学者支援事業として活用させていただきました。

寄附の申込・払込方法、最新の特定基金情報ははこちら

<https://www.iwate-u.ac.jp/ihatovkikin/>



岩手大学の教育・研究

『「電波」で「電気」を送れるか？』

理工学部 村田 健太郎 助教



「無線電力伝送(以下、WPT^注)」という技術をご存知でしょうか？簡単に言えば、Wi-Fiでは電波を使ってどこでも「電気信号=情報」のやり取りができるように、WPTでは電波を使って「電気そのもの」を遠隔で届けることができます。難しそうな技術に思われるかもしれませんが、研究室レベルでもデモができるくらい仕組みはシンプルです(図参照)。

実はWPTは2022年5月の制度整備以降、商用化可能となっていますが、未だ本格的な実用化には至っていません。これは、WPTにおける2つの技術的障壁に起因しています。

第一に、WPTシステムの「ハード障壁」です。例えば、受電機が電池切れの場合、送受電機間では通信ができないので、送電機はどこに電波を届ければ良いかわからず、充電したいのにできないというジレンマに陥ります。

第二に、WPT制度の「ソフト障壁」です。前述の制度整備により、Wi-Fiと比較しWPTでは10,000倍も強力な電波を利用できますが、一方で人への電波ばく露を従来と同じ基準値以下にすることが求められます。

そこで私の研究室では、通信・レーダといった無線分野の異なる技術を応用することで、電源を持たない受電機との疑似的な通信や、人検出と電波ばく露回避を可能とする技術を確認し、これらの研究論文は国際学会にて表彰されています。

このようにWPTを取り巻く多面的障壁を打破し、情報も電気も無線でやり取りできる真のワイヤレス社会を実現することを目指しています。

^注 Wireless Power Transfer



定年退職教員の紹介

以下の先生方が令和5年3月をもって定年退職されます。長年にわたり教育・研究にご尽力いただきありがとうございました。

所属	職名	氏名	研究分野・キーワード
人文社会科学部	教授	遠藤 教 昭	社会情報システム学
人文社会科学部	教授	栗林 徹	運動疫学・コーチング論(バスケットボール)
人文社会科学部	教授	白倉 孝 行	情報統計科学
人文社会科学部	教授	松岡 和 生	認知心理学
教育学部	教授	鎌田 安 久	運動生理学、コーチング学
教育学部	教授	川口 明 子	音楽教育・民族音楽学
教育学部	教授	菊地 悟	日本語学
教育学部	教授	佐藤 由紀男	考古学
教育学部	教授	藪 敏 裕	漢文学
理工学部	教授	西山 清	人間情報学
理工学部	教授	船崎 健 一	機械工学、ターボ機械、航空宇宙工学
農学部	教授	塚本 知 玄	食品化学
農学部	教授	寺嶋 淳	獣医公衆衛生学
農学部	准教授	小田 伸 一	動物栄養機能学
農学部	准教授	庄野 浩 資	植物環境制御学
連合農学研究科	教授	比屋根 哲	森林計画学・環境教育論
国際教育センター	教授	尾中 夏 美	英語教育、国際教育

同窓会連合の活動状況

岩手大学の卒業生・修了生の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。新型コロナウイルス感染症対策で、学長と同窓生の懇談会は一昨年は中止。昨年も役員のみで開催という事で、今年は3年ぶりに一般の同窓生も参加して開催されました。大学側の積極的な大学運営の御発表に加えて、今年は同窓生の社会での活躍、また学生のベンチャービジネスや社会貢献の発表もあり、頼もしい後輩の姿を見ることが出来ました。大学の授業も大分正常化してきましたが、まだコロナ対策が必要なこともあり、我々卒業生が卒業式、入学式に加わることが出来ません。いち早くコロナ前の姿に戻ることを祈念しています。同窓会員各位の益々のご活躍を祈念申し上げますとともに、岩手大学同窓会連合の諸活動に、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



会長 遠藤 隆

卒業生・修了生と学長との懇談会を開催しました

令和4年9月3日(土)、本学北桐ホールにて「卒業生・修了生と学長との懇談会(第14回)」を開催し、50名を超える方々にご参加いただきました。

小川学長並びに遠藤会長からの挨拶に続き、同窓生である藁谷収氏(北桐会長・岩手県立美術館長)から「岩手の美術教育—美術館との連携について」、また、狩野利之氏(一祐会電気電子情報科会・東京支部長)から「同窓会活動のご紹介と活性化に向けて」と題して、講演をいただきました。次いで、学内カンパニー「iFive」とNEXT STEP工房「まちづくりサークルNPCN」の各学生団体から活動内容の発表がありました。その後、発表内容等に関する質問や活発な意見交換があり、有意義な会となりました。



次回の開催については決まり次第同窓会連合ホームページ(<https://alumni.iwate-u.ac.jp/>)等でお知らせします。またみなさまにお会いできることを楽しみにしています。

令和3年度岩手大学同窓会連合 決算

【収入の部】(単位:円)

項目	予算額	決算額	差額
会費収入	1,200,000	1,200,000	0
前年度の繰越金	1,520,050	1,520,050	0
その他収入	17	13	4
計	2,720,067	2,720,063	4

【支出の部】(単位:円)

項目	予算額	決算額	差額
事業費	1,855,000	1,657,228	197,772
会長活動経費	30,000	2,673	27,327
会議費	6,000	0	6,000
事務費	5,000	1,650	3,350
予備費	824,067	0	824,067
計	2,720,067	1,661,551	1,058,516

[収入-支出=繰越額] 2,720,063 - 1,661,551 = 1,058,512

役員名簿

役員	会長	遠藤 隆	七友会会長
	副会長	藁谷 収	北桐会会長
		柏葉安兵衛	一祐会会長
		武田 純一	北水会会長
監事	稲垣 秀悦	七友会	
	長内 努	北桐会	
理事会理事	会長	遠藤 隆	(七友会会長)
	副会長	藁谷 収	(北桐会会長)
		柏葉安兵衛	(一祐会会長)
		武田 純一	(北水会会長)
	七友会理事	鈴木 護	
	北桐会理事	溝口 昭彦	
	一祐会理事	長田 洋	
	北水会理事	澤井 健	
	岩手大学	小川 智	学長
		藤代 博之	理事・副学長
横山 英信		人文社会科学部長	
境野 直樹		教育学部長	
八代 仁		理工学部長	
伊藤 菊一	農学部長		

令和3年度事業報告

- ◎理事会の開催
第23回 令和3年5月24日(月)~5月28日(金)紙面開催
令和2年度事業報告(案)、決算(案)
令和3年度事業計画(案)、予算(案)
卒業生・修了生と学長との懇談会(第13回)
同窓会連合に支部会員を加えることについて
次期会長等の選出
- ◎運営委員会の開催
計2回開催(令和3年4月26日(月)、10月14日(木))
- ◎第13回卒業生・修了生と学長との懇談会の開催(令和3年9月18日(土))
- ◎会報第13号の発行
- ◎ガンダイニングへの協賛
- ◎岩手大学イーハトーヴ基金への寄付

令和4年度事業計画と実施状況

- ◎理事会の開催
第24回 令和4年5月24日(火)
- ◎運営委員会の開催
第43回 令和4年4月22日(金)~4月28日(木)メール会議
第44回 令和4年8月17日(火)~8月19日(金)メール会議
第45回 令和4年10月4日(火)
- ◎第14回卒業生・修了生と学長との懇談会の開催(令和4年9月3日(土))
- ◎会報第14号の発行
- ◎ガンダイニングへの協賛

七友会

人文社会科学部 同窓会

岩手大学の卒業生・修了生の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。人文社会科学部同窓会、七友会は7月2日に創立40周年の同窓会を開催しました。本来であれば昨年が40周年だったのですが、新型コロナの蔓延により延期を余儀なくされました。会は小川学長を始めご来賓の皆様のごあいさつに続いて、入社発足当時の古い写真や動画を編集したこの40年の歩みが紹介されました。そこでは東日本大震災の復興支援で人社のみならず大学全体が取り組んだ様子が映し出され、感慨深いものがありました。また七友会員で、お笑い芸人になった村民代表南川さんのコトも披露され、ある意味人社らしい、和やかで心温まるひとときとなりました。同窓会員各位の益々のご活躍を祈念申し上げますとともに、岩手大学同窓会連合の諸活動に、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



北桐会

教育学部 同窓会

今年度も新型コロナウイルスの影響が続き、評議員会や理事会は書面での表決を中心に執り行ってきました。常任理事会は、7月に2期4年の任期を終え退任された小笠原義文会長、そして、その後就任された藁谷収新会長のリーダーシップのもと対面



で開催し、順調に事業を推進してきました。主な活動を報告します。

- 令和4年3月に会報「北桐」61号を発行いたしました。今回は、「児童・生徒の可能性を引き出す特別支援教育の今」を特集に組みました。お忙しい中、快くご執筆・ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。
- 9月3日(土)に開催された「第14回卒業生・修了生と学長との懇談会」において、北桐会藁谷会長(S50教育学部卒業・S52教育専攻科修了)が、卒業生講演を行いました。
- 会員・準会員活動援助として、卒業生・修了生に同窓会報と北桐会オリジナルトートバックを贈呈しています。
- 「北桐会」設立70周年記念事業の実施に向け、今後準備に入る予定です。

一祐会

理工学部 同窓会

《会員への情報提供》

令和4年3月に会誌「北杜」70号を発行しました。

《活動報告》

- 新正会員への記念品(トートバッグ)を贈呈しました。
- 理事会を4月27日(水)の18時より対面での短時間開催として実施しました。

- 定期総会を新型コロナ感染症対策のため書面表決で行うこととし、令和4年5月21日(土)一祐会館に於いて議決結果の確認立会いを実施しました。
- 岩手大学イーハトーヴ基金 理工学部「未来へのチャレンジ基金」へ寄附しました。

《一祐会創立80周年記念に向けて》

- 記念事業実行委員会を発足させ準備を進めているところです。開催当日配布する記念誌の委員会も発足しました。コロナの終息を祈り、令和5年5月20日(土)開催を目指します。



北水会

農学部 同窓会

◎北水会発足100周年記念式典・講演会・祝賀会を举行！

コロナ禍を勘案し2年延期していた100周年事業のメインイベント「記念式典・講演会・祝賀会」を、「農学部創立120周年行事」と合同で7月1日(金)に開催しました。幸いコロナ第6波が減衰する中、会場のホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングは来賓・会員など300名で埋め尽くされました。

冒頭、宮澤賢治の「世界がぜんたい幸福にならないうちは…」を引用した司会の及川らんさん(森林科学科3年)に導かれ黙祷を捧げた後、伊藤菊一農学部長、武田純一北水会会長の式辞、達増拓也岩手県知事、小川智学長らの祝辞、北水会功労者表彰などにより、式典は厳粛な中にも和やかに進行了しました。

その後、活躍するOB・OG3名による講演会、地元岩手放送の大塚富夫アナウンサーの巧みな進行による鼎談、岩手大学合唱団(ビデオ出演)による復興祈念ミニコンサートが続きました。祝賀会は、岩手大学さんさ踊り実行委員会による盛岡さんさ踊りで華やかに幕を開け、参加の皆さんはソーシャルディスタンスに配慮しつつも、久々の再会に賑やかに和気あいあいと盛り上がりました。岩手大学の人的資源などをフル活用した「地産地消」のイベントになりました。

なお、令和元年度から進めてきた記念事業は、「北水会報第143号(発足100周年記念特集号)」の刊行で一段落となります。



伊藤菊一農学部長の式辞



武田純一会長から若尾紀夫名誉教授への北水会特別功労賞の授与

オリジナル切手「宮澤賢治と岩手大学」

盛岡高等農林学校やその卒業生である宮澤賢治とアザリアの仲間たち、また、現在の本学の様子や宮澤賢治が青春時代を過ごした盛岡市の風景を題材とした岩手大学オリジナル切手「宮澤賢治と岩手大学」を作成しました。

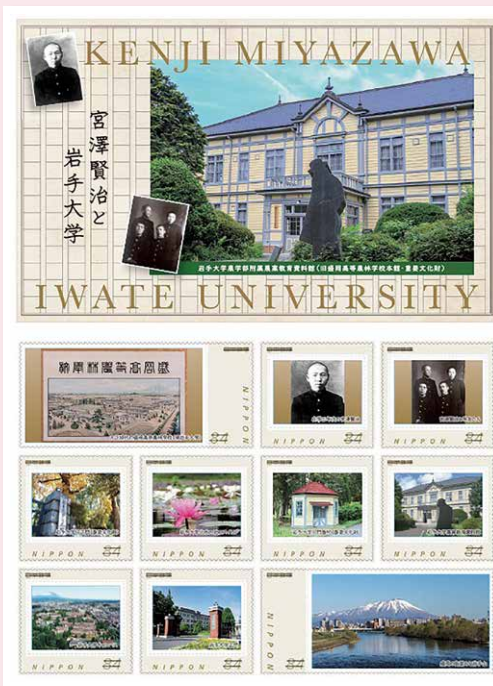
1シート1,900円(84円切手×10枚)で、岩手大学生協、花巻市や盛岡市の観光施設等でも販売していますので、贈り物等にもご利用ください。

※切手販売収益の一部は「岩手大学イーハトーヴ基金」を通じて本学学生支援のために活用されます。



オリジナル切手台紙

【注文・販売問い合わせ先】
岩手大学生生活協同組合
購買中央店
(TEL.019-652-2028)



岩手大学紹介テレビ番組 「ガンダイニング」

～岩手大学同窓会連合も協賛しています～

「ガンダイニング」では、岩手大学における学生生活・研究活動・地域貢献活動やあまり知られていない魅力等を紹介しています。

コロナ禍にあっても、学生は前向きに力強く岩大らしく大学生活を送り、大学も全面的にサポートしています。そんな岩手大学の“いま”を現役学生リポーターが元気に紹介しています。

10月～12月の毎週火曜日夕方6:55～IBC岩手放送で放送しています。岩手大学公式YouTubeチャンネルにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



IBCテレビ「ガンダイニング」

毎週火曜日 午後6時55分 放送【初回2022年10月4日(火)】
(再放送は毎週水曜日 午前0時55分 放送)

岩手大学 公式ソーシャルメディアのご案内

岩手大学では、Twitter、YouTube等を更新中！
岩手大学のニュース・イベント情報、日々の出来事やガンダイニング等の動画を掲載しています。ぜひ覗いてみてください。

▶岩手大学公式 Twitter

https://twitter.com/Iwate_Univ_PR



▶岩手大学公式 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC8ua2BprbPkSvGSMYwK1aOA>

▶岩手大学ソーシャルメディア
公式アカウント一覧

<https://www.iwate-u.ac.jp/about/public/sns.html>



編集後記

突如始まった新型コロナウイルス感染症対策の日々ですが、3年目ともなると日常化してきた感があります。学生達の課外活動も、昨年までの縮小モードから反転し、大学生活をそれなりに楽しんでおります。

大学の活力の源は、学生・教職員・地域の皆様・同窓生という多様な人々が、オンラインでもオフラインでもつながっていることかと思えます。同窓生の皆様には、様々な形でご支援・ご鞭撻を今後ともよろしくお願い申し上げます。(MS)

岩手大学同窓会連合会報 No.14
2022.12 発行

発行事務局

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8
TEL.019-621-6015
FAX.019-621-6014
E-mail:dosokai@iwate-u.ac.jp
URL:<https://alumni.iwate-u.ac.jp/>